# Vol.97　実戦を想定した際の演奏を考えてみる　～その 7～

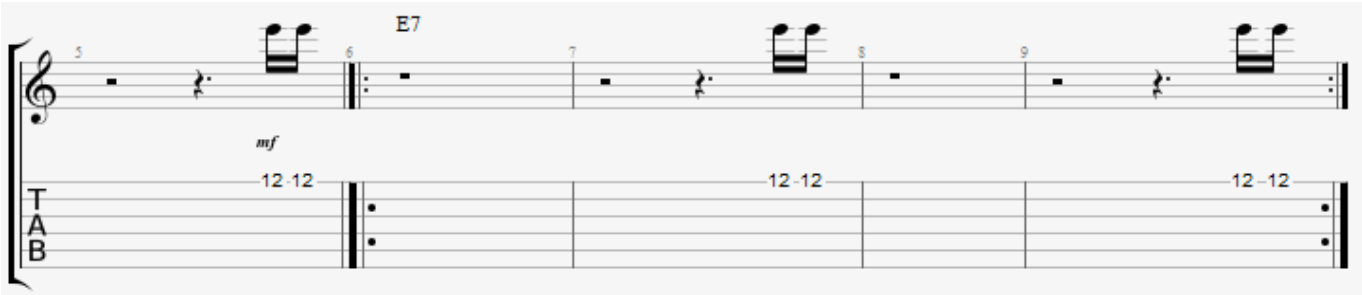
では、『10 分トレ』vol.97、始めていきましょう。

今回は、前回設定した、『E7 一発』の進行上で使えそうなネタを考えていきます。

もしセッションでやる場合は、ファンク系のスタイルになるかと思いますが、ここではあまり気にせず、広く使えそうな音や動きを出してみましょう。

では、譜例は以下になります。

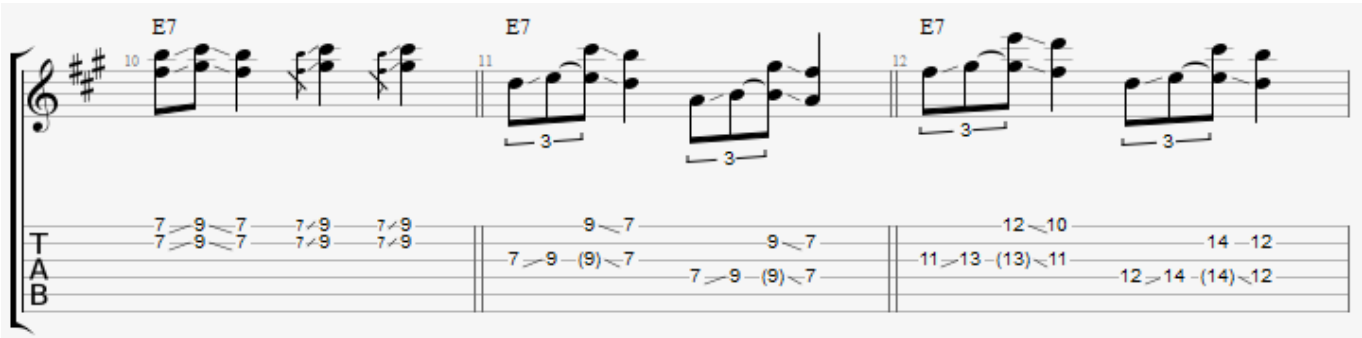
**譜例、E7、フレーズ案 1**




ものすごくシンプルなパターンですが、バンドに参加している人数(パート)が多い時や、あまり音を入れたくない時に使えます。

相対的に強くなる、強拍、奇数小節の前に、合いの手やフィルイン的に入れてやる事が多いフレーズですね。

**譜例、E7、フレーズ案 2**



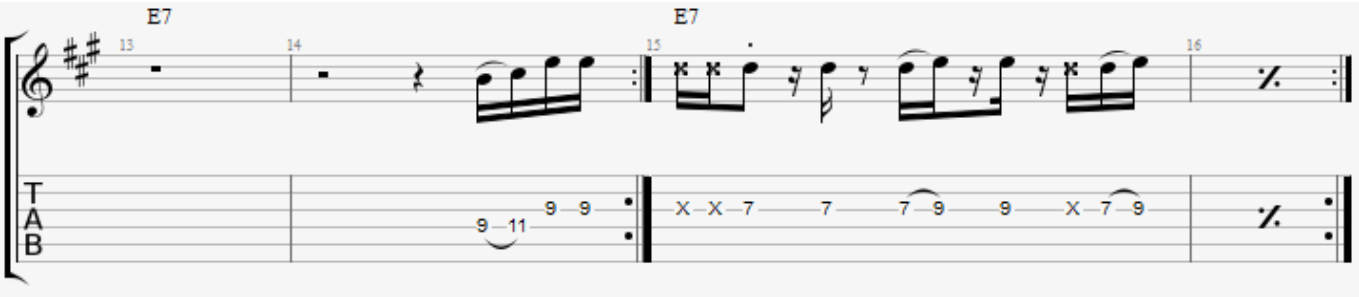

過去に配布したテキストで取り上げたこともある、ベーシックな動きです。

各小節は続き物では無く、独立しています。

素直に譜例の様な音の動きをさせても良いですし、他のパターンを考えてみても良いでしょう。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

**譜例、E7、フレーズ案 3**

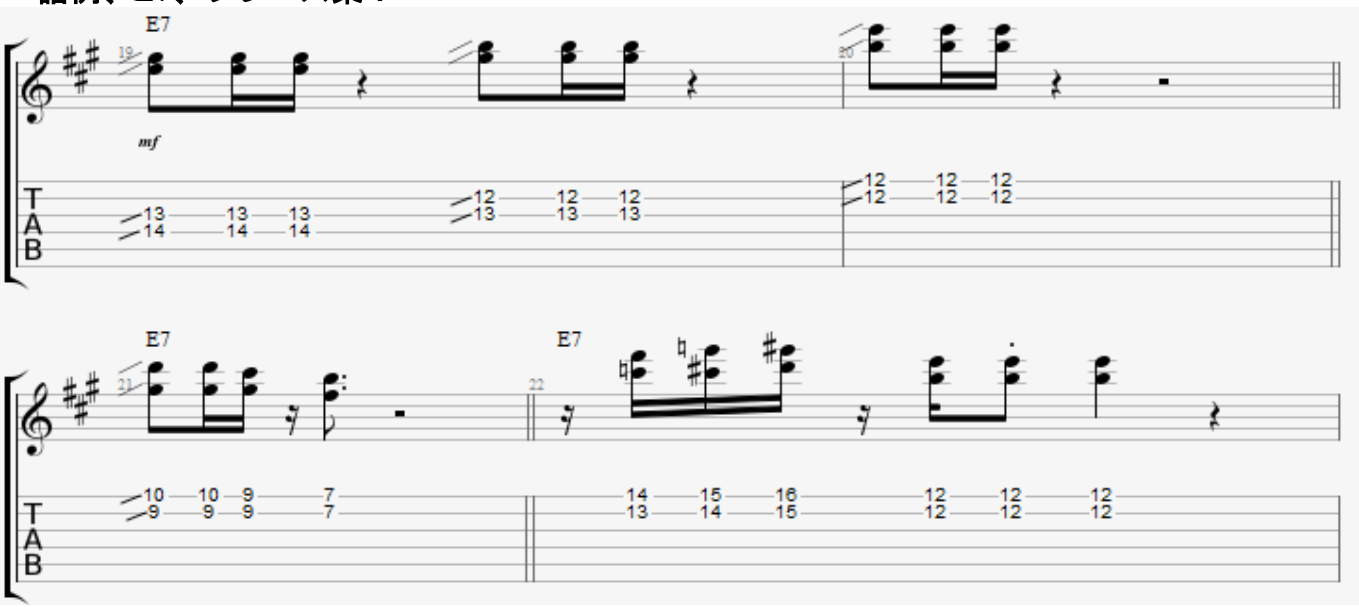



こちらも、続き物では無く、2 小節のパターンが 2 つになっています。

基本的には、強調したい拍以外は軽くブリッジ・ミュートを掛ける事になるでしょう。

ひとつ目は E メジャーペンタから、2 つ目は、5 弦ルートの E7 のヴォイシングから使うポジションを決めていますが、この辺りの解釈は自由です。

**譜例、E7、フレーズ案 4**




譜例 2 とは少し違うアプローチのダブル・ストップですね。どれがどのヴォイシングを元にしているか確認しておきましょう。

4 小節目の様なクロマチックの動きも、効果的に取り入れられるとカッコよくなります。

後、ここでの譜例は紹介がメインなので、実際に使う場合はアウフタクト(弱起)やシンコペーションを意識してみると良いでしょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved